



岩国駅周辺地区 グランドデザイン

The Grand Design of
Iwakuni Central Area

- The Digest Edition - 【概要版】



策定の背景

豊かな自然や利便性の高い交通網、盛んな国際交流など、岩国市には他の街にはない多くの魅力やポテンシャルがあります。一方、郊外型の大型ショッピングセンターの台頭やインターネット通販の拡大などにより、商店街を中心とした駅周辺のにぎわいは衰退しつつあり、今まさにこれらのポテンシャルを最大限に活用しながら、「みんな」が街の一員として、まちづくりを「自分事」として進めることが求められている、という背景があります。

策定の目的

本グランドデザインの策定の大きな目的は「みんな」の共通の目標となる未来像を描き、それに向かってできることを様々なレベルで具体的に示すことです。



この街のために、僕はいったい何を目指して、何をすればいいのだろうか？

僕もまちづくりの主役なんだ！「みんな」で同じ目標に向かって行動しよう！

そのため、できるだけ多くの人たちと対話をしながら、「みんな」でつくりあげることが重要です。そのことを踏まえて、以下の実現をより具体的な目的としています。

1. 策定時にできるだけ多くの人と意見交換を行い、まちづくりへの関心を高める！
2. みんなの共通の目標となる未来像を具体的に示し、未来への期待感を抱かせる！
3. 自分も「街を構成する一人」であることを自覚させ、できることから始めるように促す！
4. 街に関わる様々な活動が連鎖的につながる仕組みづくりのきっかけとなる！
5. 地区の現在の魅力や未来のポテンシャルを発信し、地区のブランド力を高める！

にぎわいをデザインする3つの軸

地区全体の活性化にあたっては、大きく分けると、「ポテンシャルの引き上げ」「エリアとサービスの拡大」「にぎわいの増幅」という重要なポイントがあり、それらに対してそれぞれ右に示すような3つの手法が軸となって実現されていきます。

ひとつひとつ単独で実行された場合には、その効果は限られたものになってしまいがちですが、連携を図って展開されていくことで、相乗効果が生まれ、点から線、やがて面へと徐々に街に変化がもたらされていきます。

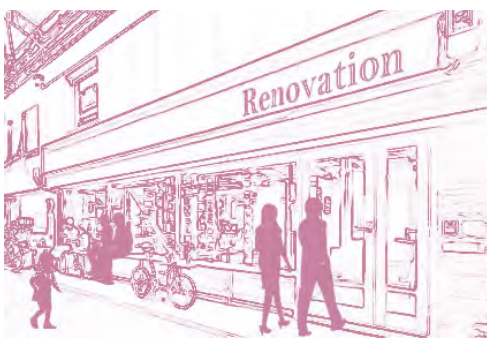


①核プロジェクト ポテンシャルの引き上げ



- * 駅前広場や公園などの公共空間の整備や、再開発事業などの規模の大きなプロジェクトで、活性化に向けての起爆剤となるようなものを指します。
- * 周辺のエリアに与える影響も大きいため、先導して地区全体のポテンシャルを引き上げる力を持っています。

②リノベーション エリアとサービスの拡大



- * 空き家・空き店舗・空き地などの「遊休不動産」を改修して、「機能」や「価値」を再生し、再活用することで、活性化のサイクルをつくります。
- * 小さな規模での街の更新を多発させることで、にぎわいのエリアをサービスをさらに広げる力を持っています。

③プレイスメイキング にぎわいの増幅



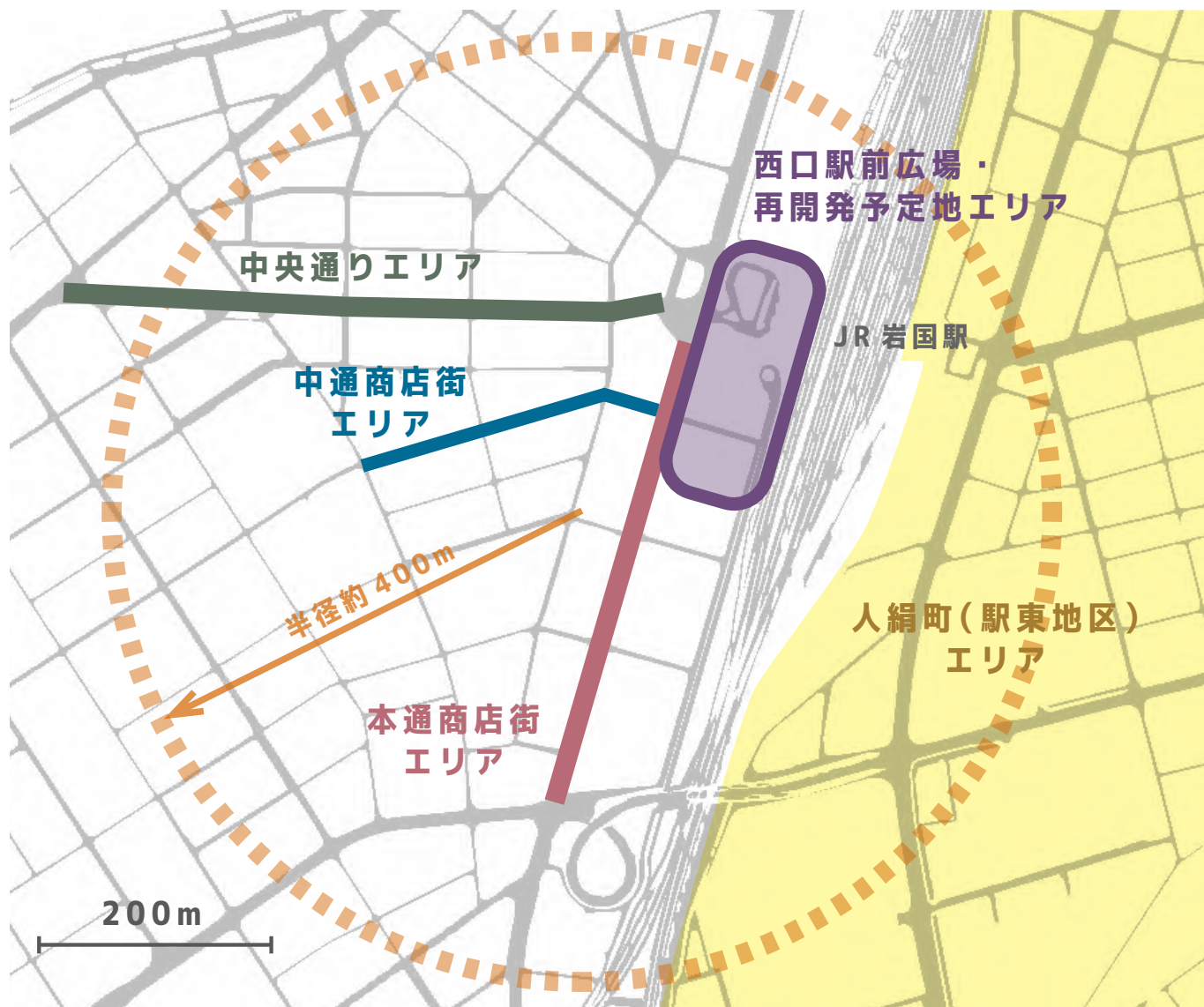
- * 多様な人たちの多様な活動をサポートする居場所を街中につくるための手法を指します。
- * 行政や近隣と協力しながら、様々な仕掛け（居心地の良い場所をつくる、歩きやすい空間を整備する、など）を街のいたるところに展開していくことで、にぎわいを面的に増幅させる力を持っています。



ランドデザインでは、この手法を使いながら、にぎわいづくりを考えていきます。

対象エリアと活性化コンセプト

「岩国駅周辺地区」として、半径400～500mの範囲を本グランドデザインの主な対象として設定します。地区内は次に示す5つのエリアを軸に、コンパクトな中心市街地が形成されていますが、各エリアは独自の特色があるため、それぞれ目指すべきにぎわいのあり方もそれぞれ異なるものとなります。まずはエリア別に活性化に向けたコンセプトを掲げ、目標を明確にします。



西口駅前広場・再開発予定地エリア



- ★ 岩国の玄関口として、この地ならではの特徴を持つ、**象徴的な空間**をつくる！
- ★ 地区の中心として、各エリアをつなげるハブとなり、**回遊性を強化する仕掛け**を施す！
- ★ 駅前広場の広い公共空間を活用し、**にぎわいを創出する様々なソフト事業**を展開する！
- ★ 再開発では、地区のにぎわいの核として、**周辺の街への波及効果を最大化**する計画をおこなう！
- ★ 岩国錦帯橋空港や岩国新港、錦帯橋エリアなど、**他地区とのつながり**を強める！

本通商店街エリア

- ★ 岩国の玄関口である駅前広場から人の流れを連続させ、**機能的かつ象徴的な空間**をつくる！
- ★ 中通商店街や隣接する地域とのつながりを強める！
- ★ 再開発等の核となるプロジェクトを実現し、**地区全体のポテンシャル**を引き上げる！
- ★ 商業目的だけでなく、**日常生活の中で立ち寄られる空間**をつくる！
- ★ ホテル利用者などの来街者に対するおもてなしの
雰囲気をつくり、**関係人口の創出**につなげる！



中通商店街エリア



- ★ 本通商店街から人の流れを連続させ、**空間密度の高い、活気にあふれた空間**をつくる！
- ★ 車両との分離を徹底し、**利用者が安心して過ごせる空間**をつくる！
- ★ 隣接する地域も含めて、地区を盛り上げる
様々なイベントを行いやすい空間をつくる！
- ★ 既存のヒューマンスケールを尊重し、**人に寄り添う空間**をつくる！
- ★ 既存ストックを活用したリノベーションにより、
地区の**新たなにぎわいの場づくり**をリードする！

中央通りエリア

- ★ 岩国駅から山へ向かって延びる
象徴的な通りの景観をつくる！
- ★ **地域コミュニティを醸成**し、
地区の新規の住宅開発拠点の一部を担う！
- ★ ゆとりある広い歩道空間を活用し、利用者が安心して
多様な活動が行える空間をつくる！
- ★ 自転車等の交通が快適に利用できる空間を整備し、
健康を促進する核となる！
- ★ 錦帯橋エリアなど、**他地区とのつながり**を強める！



人絹町（駅東地区）エリア



- ★ ユニークな街区構成を活用し、**コミュニティを醸成する空間**をつくる！
- ★ 地区の生活の質を高める核として、エリア内で
連携して**日常生活に活用される場**をつくる！
- ★ 多世代が利用できる公園の機能を整備し、
多様な交流を生む場をつくる！
- ★ 各公園の形状や規模、立地等の特徴を活かし、
それぞれが**個性を持った空間**をつくる！
- ★ 取り囲む店舗等と連携し、
利便性が高く、快適な空間をつくる！

にぎわいデザインシミュレーション

様々なプレイスメイキングの手法を使いながら、それぞれのエリアで具体的にどのようなにぎわいを生み出すことができるかシミュレーションをしていきます。現状を【スタート】とし、【ゴール】であるたくさんの人でにぎわう街を目指して、にぎわいの雰囲気づくりの【ステップ】を示し、変化していく姿のイメージ例を描きます。

西口駅前広場・再開発予定地エリア

① いろんなにぎわいの表情を持つ駅前広場

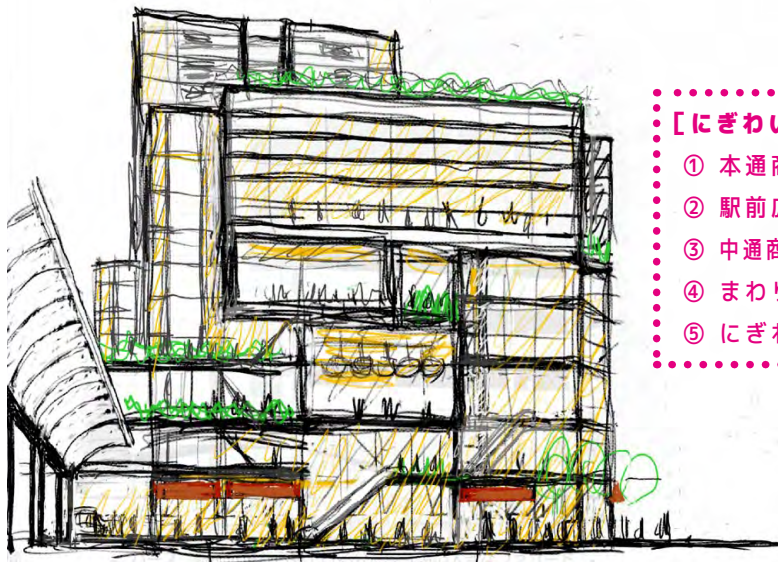
リニューアルされた西口駅前広場は、多様なイベントを開催することができる十分な広さを有しています。

この広さを活用して、期間やターゲットの異なる様々なイベントを開催することで、街を訪れる人に対して、常に表情を変える駅前広場を実現します。



② 利用する人のにぎわいが"顔"になる建物デザイン

予定されている再開発ビルについても、にぎわい創出に貢献するものとなります。まわりの街並みとの調和や、街全体の歩き回りやすさの向上にも貢献する計画を実現します。また、利用する人の姿を駅前広場に対して表出し、駅前のにぎわいのシンボルとなるような建物デザインをつくりあげます。



【にぎわいづくりのポイント】

- ① 本通商店街へ商業のにぎわいを連続させる！
- ② 駅前広場側のにぎわいを表出させる！
- ③ 中通商店街と連続してオープンな空間をつくる！
- ④ まわりの街並みからの回遊性を高める！
- ⑤ にぎわいが感じられる歩行空間をつくる！

本通商店街エリア

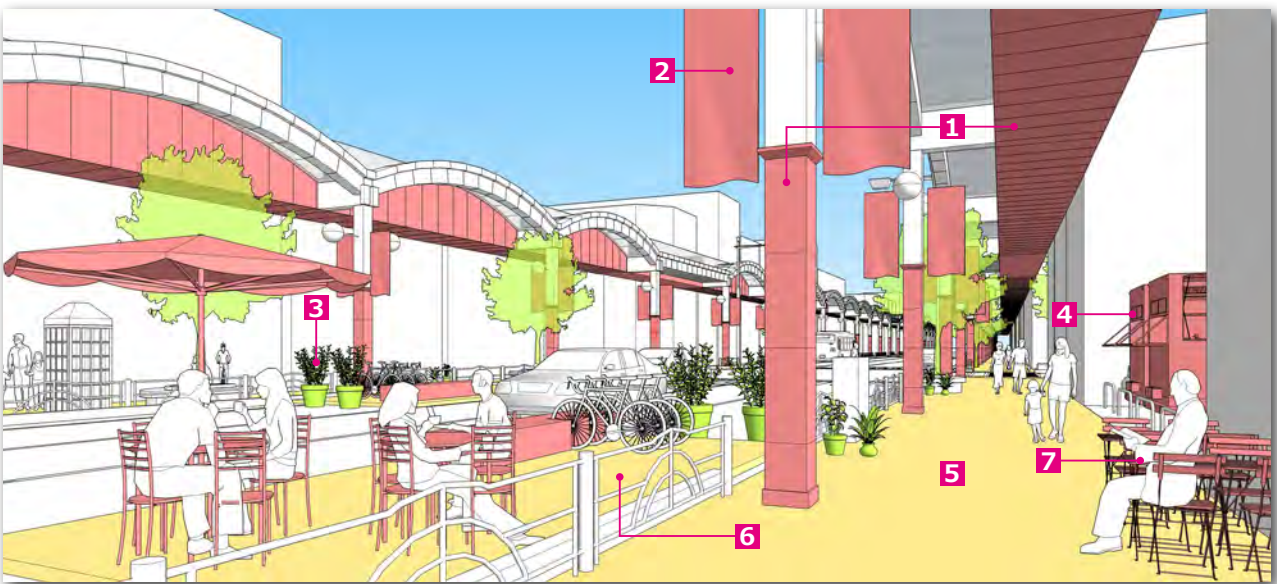
【スタート】現況 ...



【ゴール】たくさんの人でにぎわう街！



【ステップ】プレイスメイキングによるにぎわいの雰囲気づくり



1 アーケードリニューアル (木質化など)



2 フラッグサイン



3 植栽プランター



4 カフェトラック



5 舗装パターン



6 パークレット (駐車帯を活用した公園)



7 オープンテラス



【にぎわいづくりのポイント】

特長的なアーケードの形状を活かしつつ、雰囲気リニューアル。サインや植栽、舗装などでにぎわいを演出。仮設の店舗やくつろぎのスペースを設置し、人の様々な活動が見える化。

中通商店街エリア

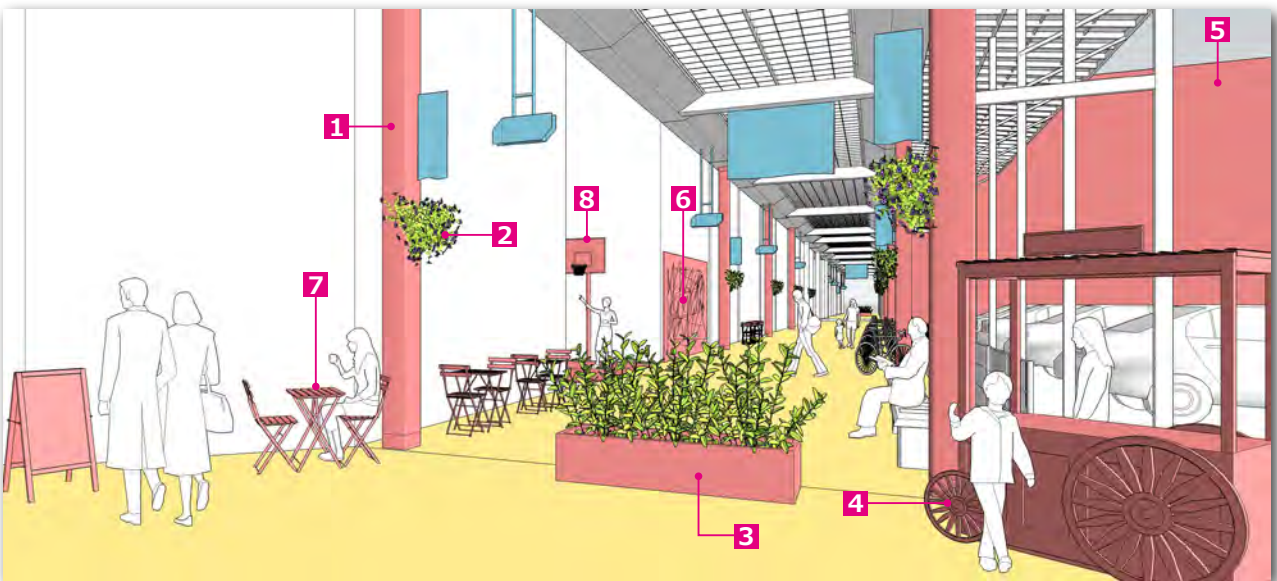
【スタート】現況 ...



【ゴール】たくさんの人でにぎわう街！



【ステップ】プレイスメイキングによるにぎわいの雰囲気づくり



1 アーケードリニューアル (木質化など)



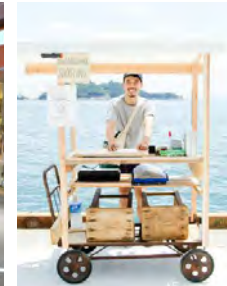
2 ハングングバスケット



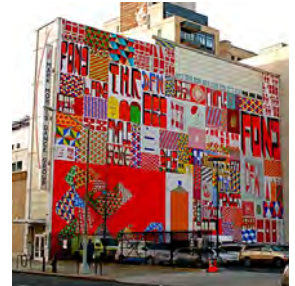
3 植栽プランター



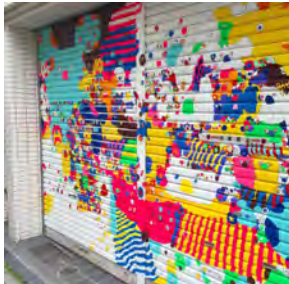
4 小型の屋台



5 アートウォール



6 シャッターアート



7 オープンテラス



8 空き地の利活用 (スポーツ)



【にぎわいづくりのポイント】

特長的なアーケードの形状を活かして、雰囲気のリニューアル。シャッターや壁面を使ったアートでにぎわいを演出。仮設の店舗や空き地を使ったイベントなどで、活気にあふれた空間づくり。

中央通りエリア

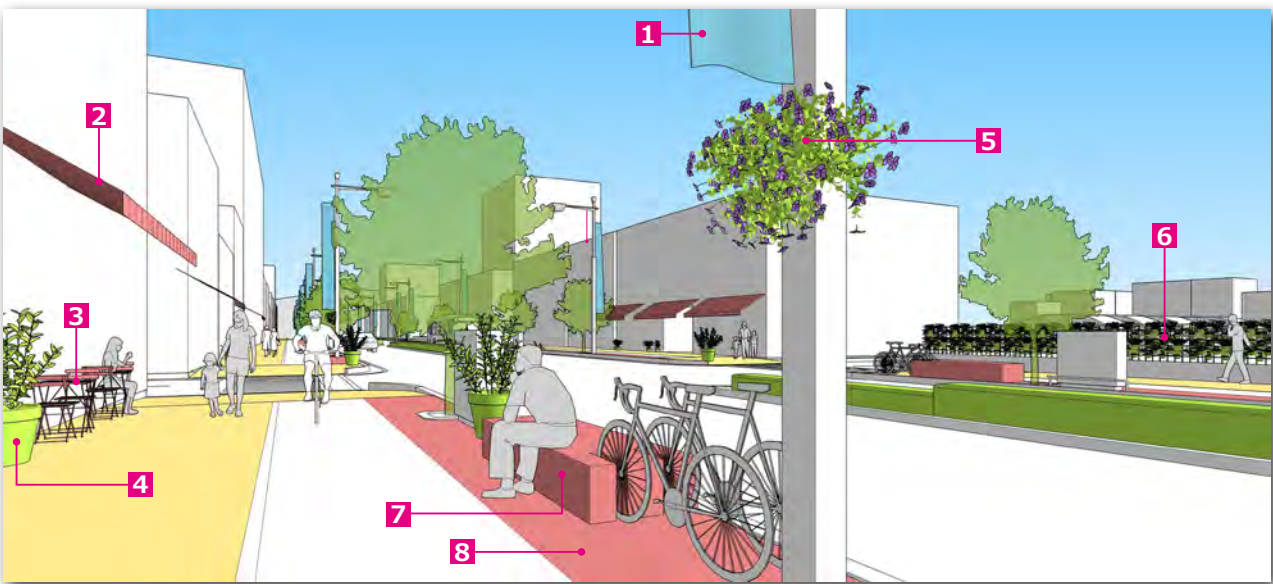
【スタート】 現況 ...



【ゴール】 たくさんの人でにぎわう街！



【ステップ】 プレイスメイキングによるにぎわいの雰囲気づくり



1 バナー



2 オーニング



3 オープンテラス



4 植栽プランター



5 ハンギングバスケット



6 目隠しプランター



7 ベンチ型サイクルラック



8 歩道のゾーン分け



【にぎわいづくりのポイント】

並木を活かしつつ、植栽の追加で潤いの雰囲気を強化。サインやオーニングで店舗のにぎわいを演出。広い歩道の有効活用。自転車利用の促進。

人絹町（駅東地区）エリア

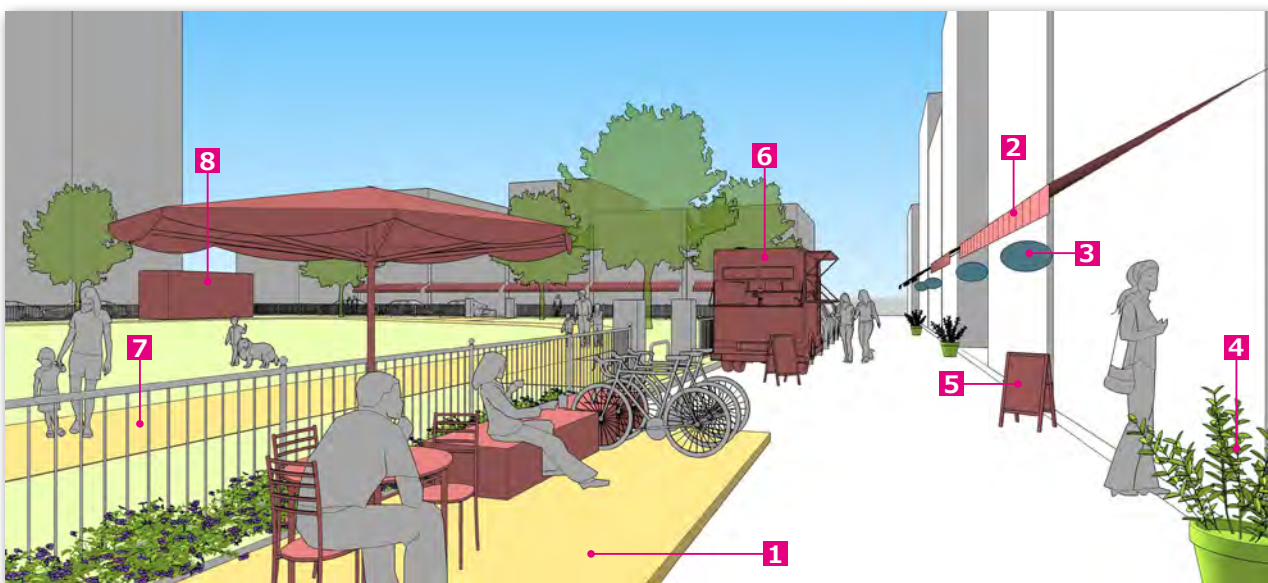
【スタート】現況 ...



【ゴール】たくさんの人でにぎわう街！



【ステップ】プレイスメイキングによるにぎわいの雰囲気づくり



1 パークレット



2 オーニング



3 突出しサイン



4 植栽プランター



5 立て看板



6 カフェトラック



7 ランニングコース



8 トイレのリニューアル



【にぎわいづくりのポイント】

公園の周囲に仮設の店舗やくつろぎのスペースを設置し、新たな人の活動を創出。サインやオーニングによるにぎわいの演出。公園の設備などのリニューアル。

まちづくりを展開するためのムーブメント

本グランドデザインで描かれた「街の未来像」を実現し、さらに展開していくには、その仕組みづくりが大切です。そのひとつのきっかけとして、「岩国クラス」という枠組みをつくり、今ある様々なイベントを連携させたり、象徴となるようロゴ作成などの新しい取り組みを行ってみたり、、、など、街のにぎわいを増幅させるための、新しいムーブメントを起こします。

「岩国クラス」って??

クラスメイト!

岩国のまちづくりの新しいムーブメントです。

みんながまるでクラスメイトのように、仲良く協力してまちづくりに関わられるような仕掛けづくりを行います。



ファミリー



く
暮らす

街なか居住の推進やコミュニティに参加しやすい環境づくり

- 子育て世代
- 新しく街のコミュニティに参加したい家族

アクティブ
シニア



く
らす

リタイア後に趣味や経験を活かした店舗やサービスの展開

- 子育てが終わった世代
- 定年退職したアクティブシニア世代

若い世代



く
らす

新規オープンのための空き店舗ツアーやシェアスペースの開設

- 新たにビジネスを始めたい人たち
- サポートが必要な若手起業家たち

子供や
学生



く
ら
来
楽
す

イベントや職場体験などを通し経済や街の仕組みを学ぶ場づくり

- 街のコミュニティに参加したい子供たち
- 社会学習や職場体験をしたい学生たち

外国人



く
ら
す
Class

外国人との交流イベントや異文化体験ができる拠点づくり

- 街の人と交流したい、日本文化に触れたい外国人
- 何かを教えたい / 教わりたい外国人

今後、街の皆さんと一緒に、次々と具体的なアクションを起こしていきます!

まとめと今後の展望

本グランドデザインの策定にあたっては、地元の「みんな」で多くの意見交換を行いながら、現時点で理想的と考えられる街の姿を描きました。この活動を通して、まちづくりに関する関心や、この街に対する誇りや愛着もより一層高まってきていると感じています。

岩国駅周辺地区グランドデザインは、今後も街に寄り添いながら、さらにたくさんの「みんな」を巻き込みながら、成長を続けていきます。



街づくり岩国

この概要版は、2020年3月に策定された
「岩国駅周辺地区グランドデザイン」をもとに
編集されたものです。



発行日 2020年6月
発行者 株式会社 街づくり岩国
策定協力 光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所株式会社